ONCC 第 11 期　～江戸時代にタイムスリップ～

テーマ：落語鑑賞

２０２３年6月7日　１３：３０～　１６：１５分頃　　場所：天満天神繁昌亭

記 3 班

昼席公演

この日の出演者：桂枝之進、桂まめだ、桂吉坊、ソフトクリームさわむら（朗らか音楽)、笑福亭笑助、笑福亭鶴二 中入り➡ 桂ひろば、月亭遊方、パピオンズ、桂米二

漫才に押され衰退していた落語会を盛り上げるために、２００６年9月１５日に産声をあげた繁昌亭。創業１７年、すっかり大阪の顔。気になりつつも行く機会に恵まれないでいたので、ワクワクでこの日を迎えました。
こじんまりした寄席のイメージそのままの、気楽に落語を楽しめる妙になじむ空間です。

まずは、若手の落語から始まり、三時間近くの間に９人と１組。
絶妙な間の取り方と満面のえみで笑いを取る芸人さんが、印象的でしたし、中入りからの仕上げでは、なめらかで、技量あるベテランの落語家さんの噺に、聞き入りました。ぎっしり詰まった濃い時間でした。

「落語には落ちがある」
一人で何役も演じ、語り、身振り手振りで物語を進めていく中、絶妙なタイミングでエッセンスを振りまき、この“落ち”に向かって噺を進めていく。演じ手の技量と、巧妙な話術で組み立てられた語り。そして、聞き手の想像力で物語が広がっていく世界。それが落語。
この言葉で、今まで以上に落語に興味が湧きました。
事前に受けた「落語で知る江戸時代」の講義のお陰で、より深く落語を楽しむことができました。
自分と違う感じ方を、シェアするのも楽しい時間になりそうです。

天満天神繁昌亭は、落語を中心に漫才、俗曲などが催されています。
芸の場を増やし、若い人を育てる発信場所としての繁昌亭は、昼の顔。
お手頃価格で、お財布にも優しい値段設定なので、若手の芸人さんの成長を楽しみに、時々足を運ぶのもよさそうです。

天満天神繁昌亭本日の公演
六月
七日
昼席
夜席
〈出演者〉
AED

天満
天神繁昌亭昼席

祝
繁昌亭ご来場者
200万人達成
座席番号
1～9